

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	結核菌糖脂質-レクチン受容体相互作用を活用した新規ナノ粒子アジュバントの創成
代表機関名	国立大学法人大阪大学
研究開発代表者名	山崎 晶
全研究開発期間	平成 29 年度～令和 3 年度

1. 研究開発成果

事後報告書(下 URL)参照

<https://www.amed.go.jp/content/000101255.pdf>

2. 総合評価

・ やや良い

【評価コメント】

結核菌が本来有する強い免疫賦活活性を再現する安全なコンポーネントワクチンの創成を目指し、結核菌等から新たなアジュバント糖脂質を見いだすとともに、糖脂質ナノ粒子化と製造法確立において、実用的な医薬品保存条件も考慮したナノ粒子(C18Brar-NP)製造方法にも取り組んだ。さらに、その免疫活性と安全性を明確化し、抑制性結核菌受容体の阻害による免疫賦活活性増強を見出したことは評価できる。また、特許取得や企業導出検討も進めており、十分な成果が得られている。

しかし、新知見や社会情勢の変化に基づく研究内容追加・変更等が研究推進全体に負担を及ぼし、オミクロン株感染試験において最終結果が得られず、さらに、ヒトの病態を反映する適切な結核感染モデルでの評価に挑んだものの再現性に問題があり、達成度がやや十分ではなかった。今後は、実用化に向けて、研究全体を精査し、企業導出が進むことを期待する。

以上